

取扱説明書

ステンレス製 天吊金具
(角度調節タイプ)

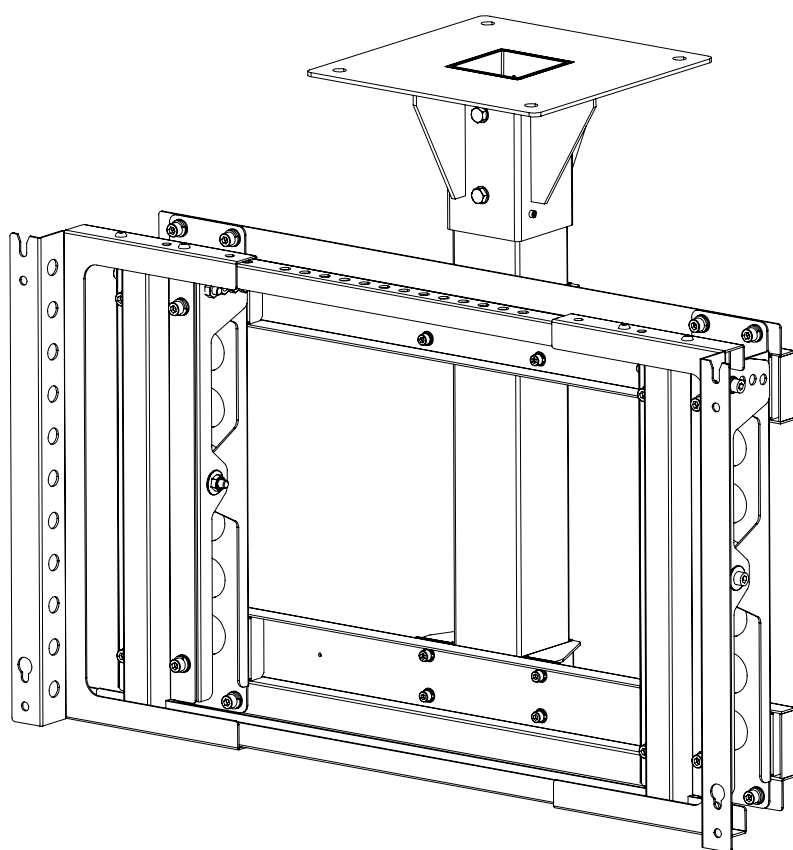
型番

LGF-C4955-K800-SUS

LGF-C4955-K1100-SUS

LGF-C4955-K1400-SUS

(ヨコ設置用)



※イラストはLGF-C4955-K800-SUS

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
- 特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。



目次

■ 安全上のご注意	1-2
■ 製品概要	3
■ 梱包内容	4
■ 「天井ベース」を天井面 / スラブ面に取り付ける	5
■ 「支柱」を「天井ベース」に取り付ける	5-6
■ 「ハット型金具」を「支柱」に取り付ける	7
■ 「ブラケットレール」を「ハット型金具」に取り付ける	7
■ 「角度調節金具」を「ブラケットレール」に取り付ける	8
■ 「アタッチメント」を「角度調節金具」に取り付ける	8-10
■ ディスプレイを「アタッチメント」に取り付ける 49V型の場合	11-12
■ ディスプレイを「アタッチメント」に取り付ける 55V型の場合	13-14
■ ディスプレイの角度を調節する	15-16
■ ディスプレイなどの配線処理をする	17
■ 保証書	18





安全上のご注意

必ずお守りください








お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次の表示で区分しています。

 警告 この表示の欄は「死亡または重症を負うことが想定される危害の程度」です。	 注意 この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。
--	---





お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、絶対にしてはいけない「禁止」内容です。	 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。	 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
 この絵表示は、指に気をつけていただきたい「注意」内容です。	

⚠ 警告

-  LGエレクトロニクス製ディスプレイ(型番:49XE3P-B, 55XE3P-B)以外は取り付けないでください。指定外のディスプレイを取り付けると、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  壊れた部品を使用しないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。万一、部品が壊れた場合には販売店にご相談ください。
-  本製品の改造・変更は行わないでください。金具やディスプレイ落下などによる破損・けがの原因となります。
-  ディスプレイを本製品に取り付け、取り外しを含め、組み立てに関しては、必ず2人以上で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  ディスプレイの設置後は、メンテナンス時以外にネジをゆるめたり、はずしたりしないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  揺れや振動の多い場所の天井へは取り付けないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  使用中にジョイント部やネジのゆるみ、がたつきが生じた場合は、必ず締め直し、直らない場合は使用を中止してください。ゆるみやがたつきがあるまま使用すると本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

⚠ 注意

-  本製品の設置には特別な技術が必要ですので、販売店や工事店にご相談ください。お客様による工事は一切行わないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  安全確保のため、ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。
-  取り付ける天井面/スラブ面には十分な強度があることを確認してください。取り付けるディスプレイ、本製品の質量に長時間耐えうることを確認してください。
-  本製品を設置後もネジやボルトなどの緩みが無いか定期的に点検を行い、緩みがあった場合は増し締めを行ってください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

本製品は生産より出荷に至るまで厳重に検査しておりますが、万一製品に破損またはご使用に支障をきたす場合は、まことに恐れ入りますが購入先または下記宛先までお問合せください。

日本フォームサービス株式会社

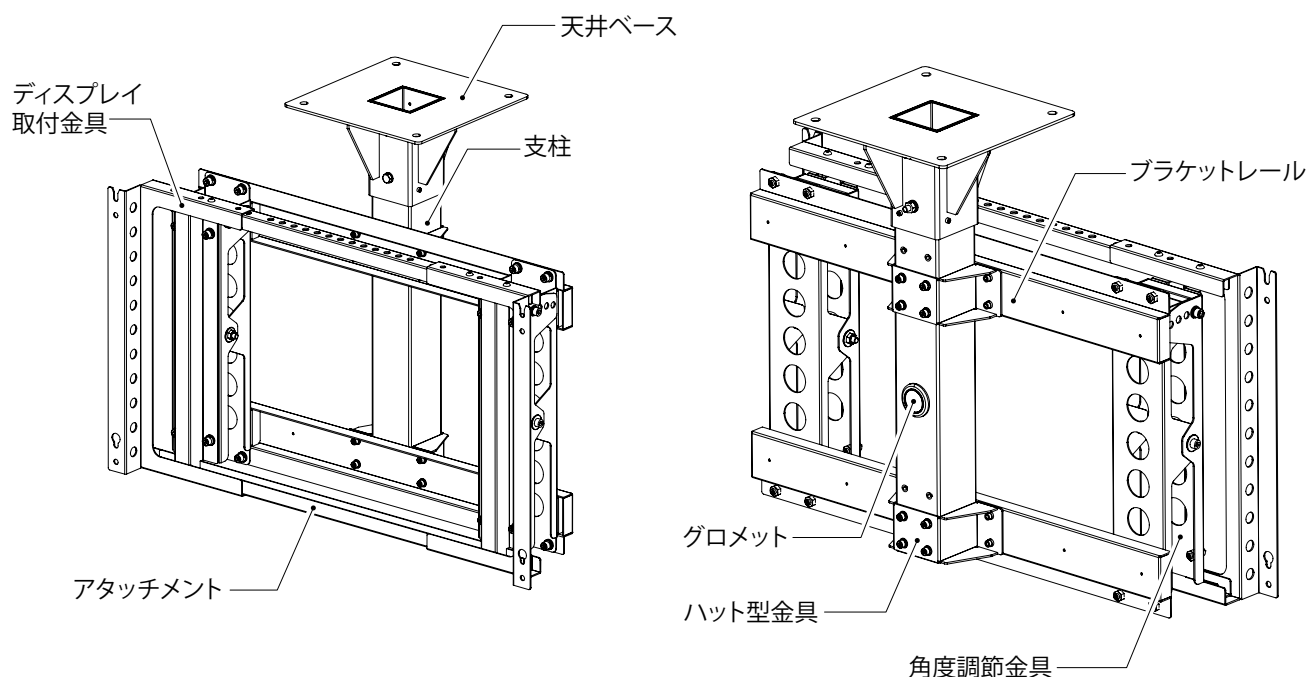
電話：03-3636-0011(代表) ホームページ：<https://www.forvice.co.jp> メール：marketing@forvice.co.jp

製品概要

ステンレス製 天吊金具 (角度調節タイプ) ※ イラストはLGF-C4955-K800-SUS

※ 本製品は下記のLGエレクトロニクス製 ディスプレイ 専用の製品です。

49 V型 55 V型
 【49XE3P-B】 【55XE3P-B】

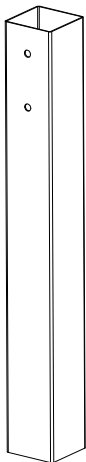
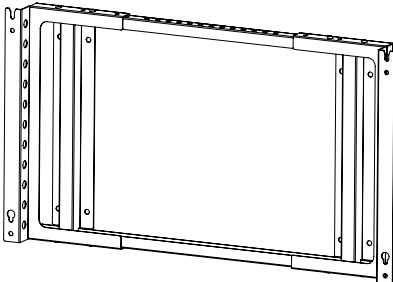
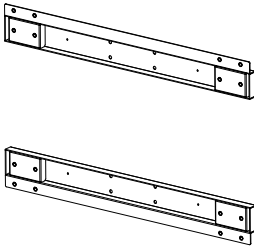
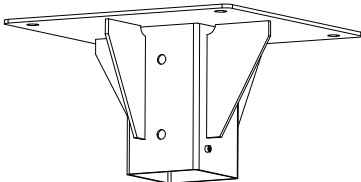
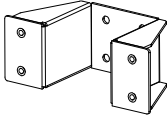
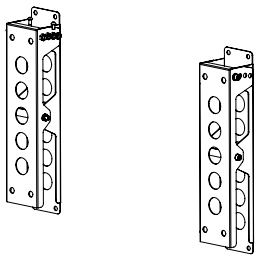
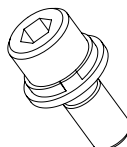
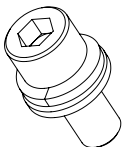
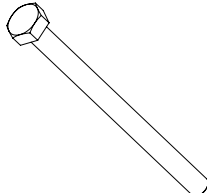
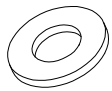
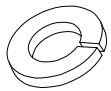
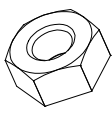

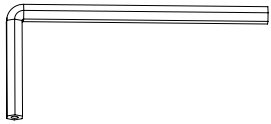
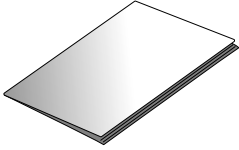


型 番	LGF-C4955-K800-SUS / LGF-C4955-K1100-SUS / LGF-C4955-K1400-SUS
質 量	約45.0kg / 約47.0kg / 約49.0kg
耐荷重	50kg

※ 型番や仕様その他の記載内容は、予告なく変更する場合があります。

梱包内容

部品・付属品

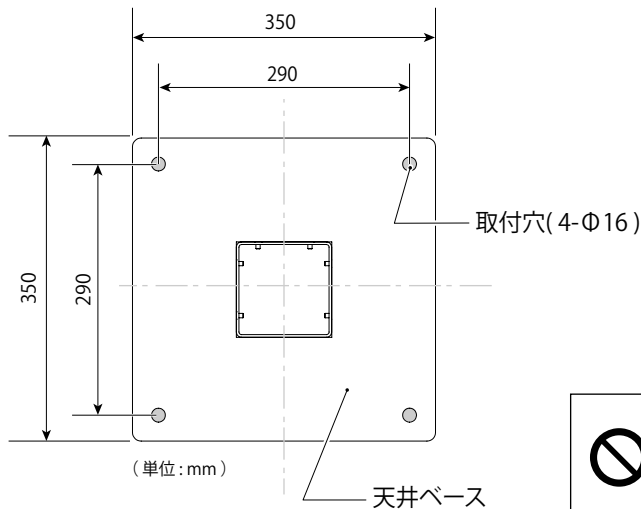
 <p>支柱…1本</p> <p>※LGF-C4955-K800-SUSの場合…800mm ※LGF-C4955-K1100-SUSの場合…1100mm ※LGF-C4955-K1400-SUSの場合…1400mm</p>	 <p>アタッチメント…1式 (※ ディスプレイ取付金具含む)</p>	 <p>ブラケットレール … 1式</p>	
	 <p>天井ベース (押しボルトM5付) …1個</p>	 <p>ハット型金具 … 2個</p>	
 <p>角度調節金具(左右)…1式</p>		 <p>六角穴付セムスP=3 (M8×20) …16本</p>	 <p>六角穴付セムスP=3 (M10×25) …16本</p>
 <p>六角ボルト (M10×135) …2本</p>	 <p>平ワッシャー (M10) …4枚</p>	 <p>スプリングワッシャー (M10) …2枚</p>	 <p>六角ナット (M10) …2個</p>
 <p>いたずら防止ネジ (M8×16) …4本</p>	 <p>いたずら防止ネジ用レンチ …1本</p>	 <p>取扱説明書 … 1部</p>	

※いたずら防止ネジ用レンチ以外の工具は付属しておりませんので、お客様や設置する方でのご用意となります。

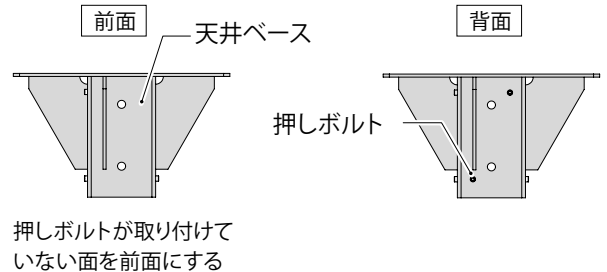
「天井ベース」を天井面 / スラブ面に取り付ける

- ・4箇所の取付穴を使用して、天井面/スラブ面に「天井ベース」を取り付けてください。
- ・取り付ける面の構造に合ったボルトを選定してください。
- ・取付前に配線経路(必要開口・逃げ寸法を含む)を確認し、必要に応じて「天井ベース」内に配線を通してください。

取付穴位置



取付の方向



本製品の設置には特別な技術が必要ですので、販売店や工事店にご相談ください。
お客様による工事は一切行わないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



取り付け位置の強度確認を行い、天井ベースの取り付けを行ってください。強度が不足する場合は、十分な補強を行ってください。



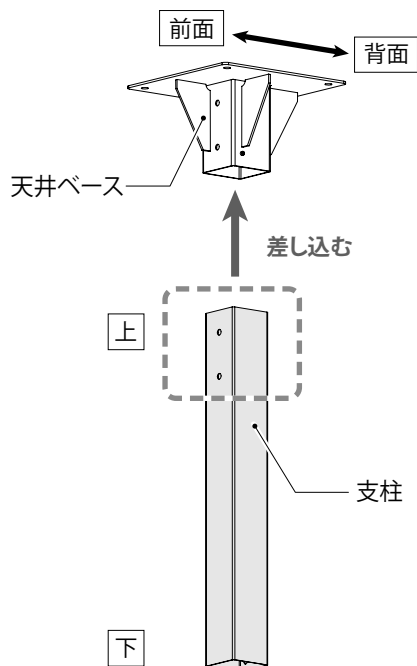
取付面の構造や設置方法(スラブ面への直接取付など)によっては、天井ベース内に配線を通せない場合があります。事前に配線経路・必要開口・逃げ寸法などを確認してください。無理な配線や部材の加工・改造は、断線や本製品、ディスプレイの落下による破損・けがの原因となります。

「支柱」を「天井ベース」に取り付ける

1. 「支柱」を天井面/スラブ面に固定した「天井ベース」に差し込んでください。

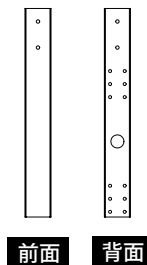
※ 支柱の差し込む向きに気を付けて取り付けを行ってください。

※ 天井ベース内に配線している場合は、支柱内にも配線を通して上で、取付を行ってください。

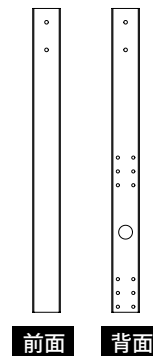


型番ごとの支柱の長さ

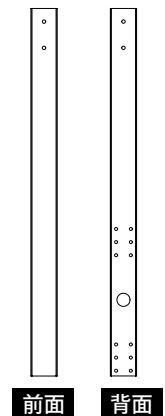
LGF-C4955-K800-SUS
支柱長さ:800mm



LGF-C4955-K1100-SUS
支柱長さ:1100mm



LGF-C4955-K1400-SUS
支柱長さ:1400mm



ベース内に仮締めされている押しボルトが内側に出っ張っていないか確認してください。支柱と干渉する恐れがあります。

※ イラストは支柱800mmの場合

「支柱」を「天井ベース」に取り付ける

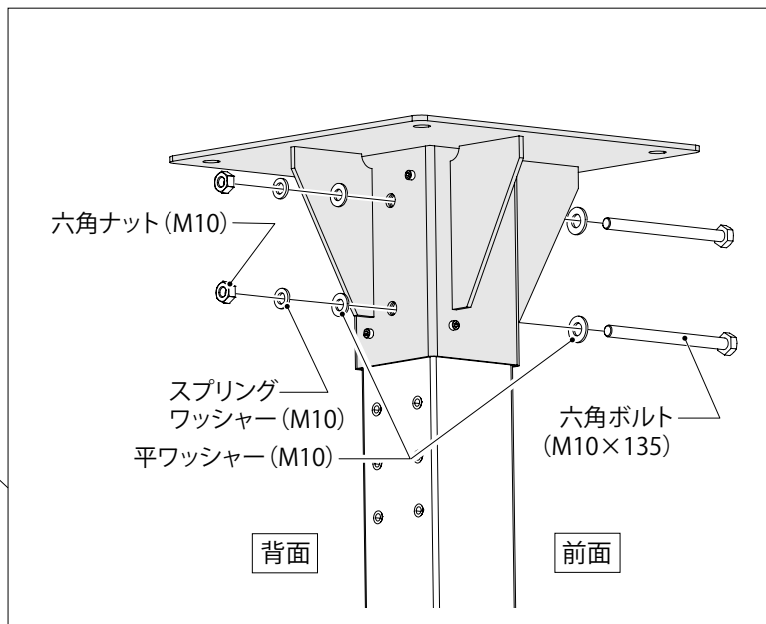
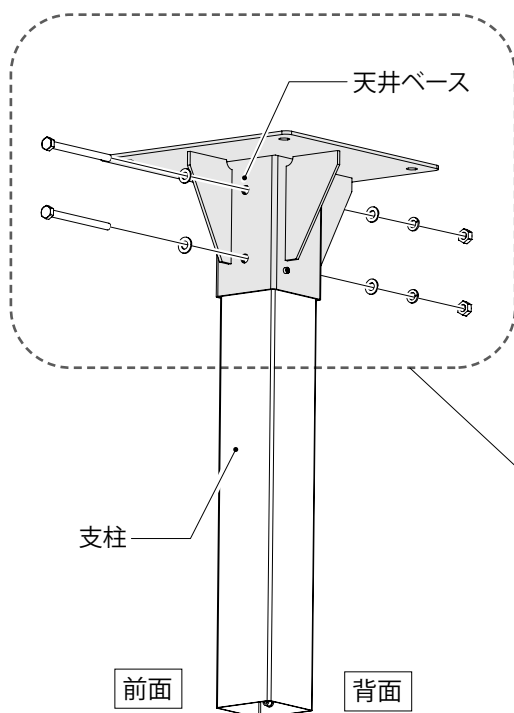
つづき

2. 付属の「六角ボルト (M10×135)」「平ワッシャー (M10)」「スプリングワッシャー (M10)」「六角ナット (M10)」を使用して差し込んだ「支柱」を「天井ベース」に取り付けてください。

使用する工具

スパナ (対辺 17mm)

六角レンチ (対辺 4mm)



支柱の取り付け後は、確実にボルトを締め付けてください。ディスプレイの落下による破損・けがの原因となります。

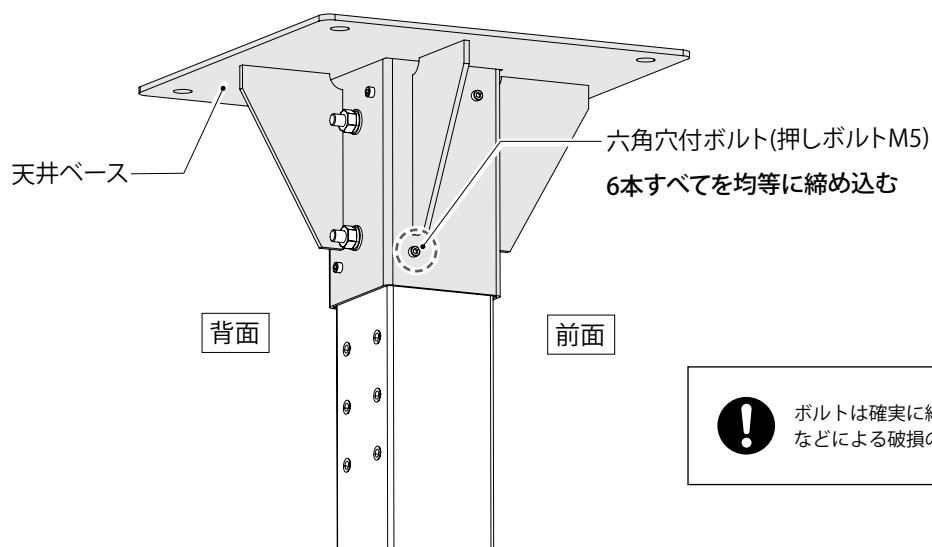


必ず2箇所所でボルトを締め付けてください。ディスプレイの落下による破損・けがの原因となります。



天井ベース内に配線している場合は、ケーブルなどの挟み込みに注意してください。断線などの原因となります。

3. 最後に「天井ベース」に仮締めされている押しボルト(M5)6本を内側の「支柱」にあたるまで、均等な力で締め込んでください。



ボルトは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損の原因となります。

「ハット型金具」を「支柱」に取り付ける

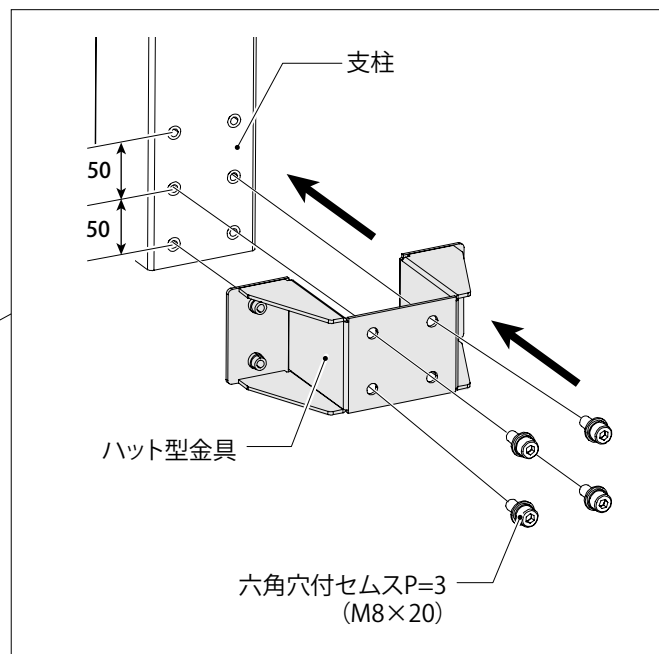
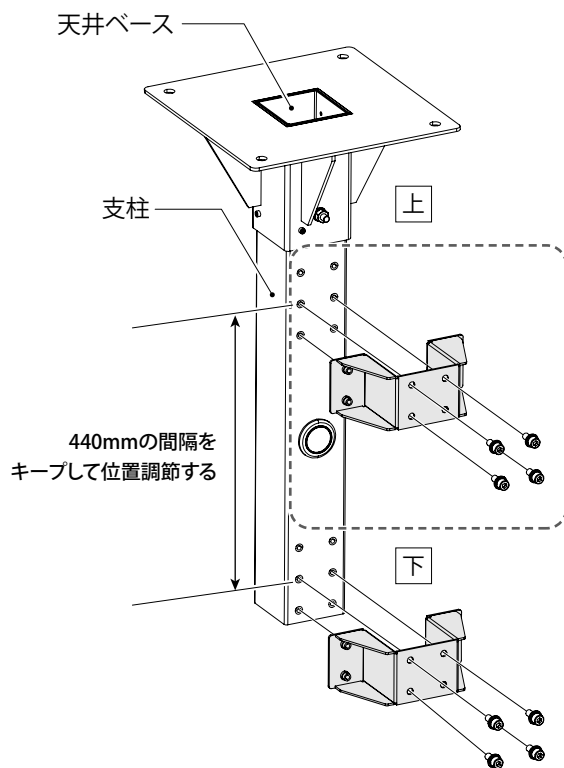
付属の「六角穴付セムスP=3 (M8×20)」8本で「ハット型金具」を「支柱」に取り付けてください。

※ ハット型金具の取り付け位置は上下2組合わせて50mmピッチで2段階調節可能です。

※ 上下のハット型金具は440mmの間隔をキープした状態で位置調節を行ってください。

使用する工具

六角レンチ (対辺 6mm)



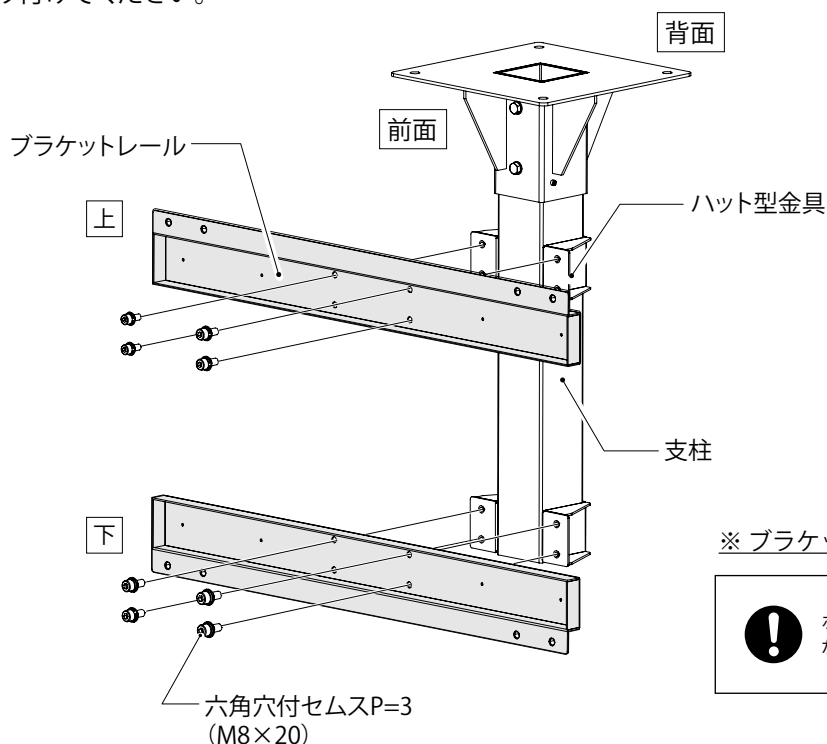
ボルトは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

「ブラケットレール」を「ハット型金具」に取り付ける

付属の「六角穴付セムスP=3 (M8×20)」8本を使用して「ブラケットレール」を「ハット型金具」に取り付けてください。

使用する工具

六角レンチ (対辺 6mm)



※ ブラケットレールの上下向きに注意してください。



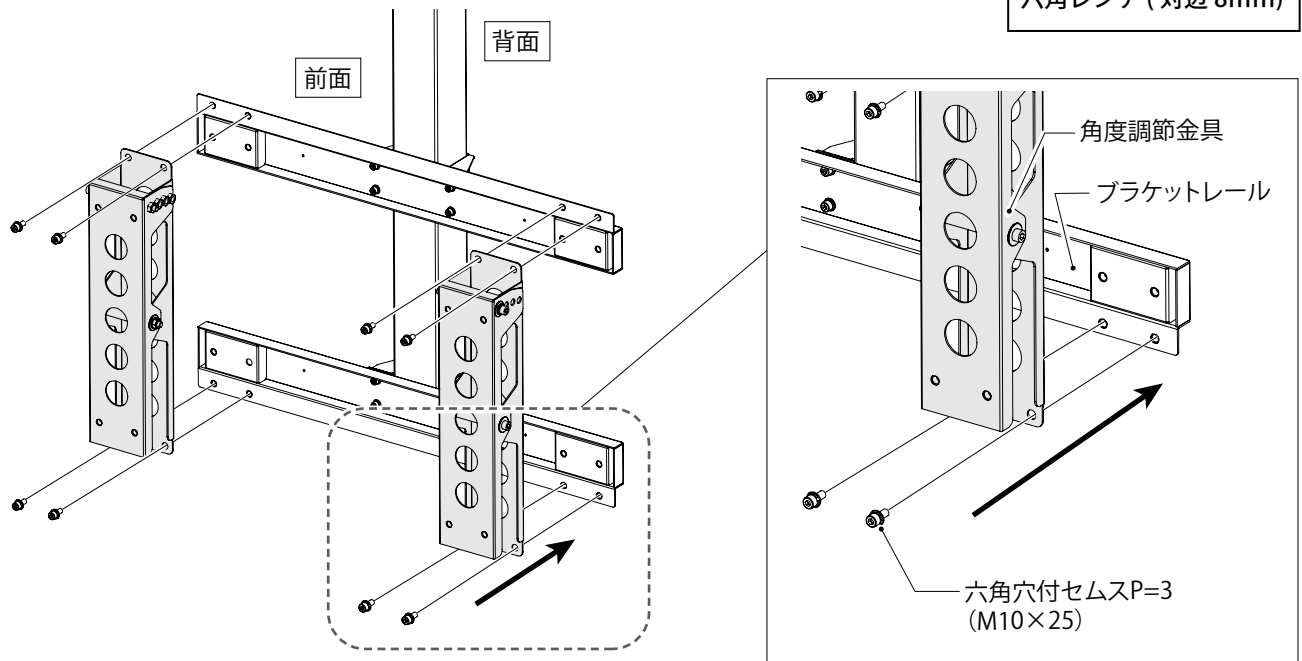
ボルトは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

「角度調節金具」を「ブラケットレール」に取り付ける

「角度調節金具」を付属の「六角穴付セムスP=3 (M10×25)」8本で「ブラケットレール」に取り付けてください。

使用する工具

六角レンチ (対辺 8mm)



ボルトは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

「アタッチメント」を「角度調節金具」に取り付ける

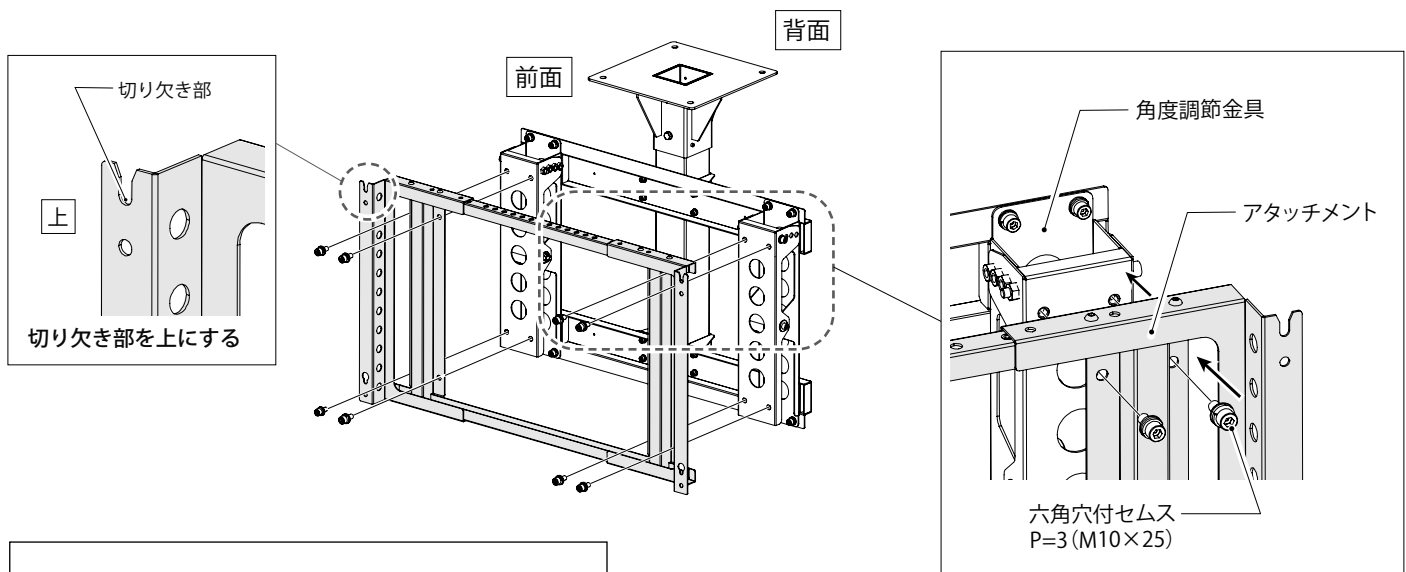
- ・ 使用ディスプレイのサイズに合わせて以下の手順をご参照ください。

49V型の場合

使用する工具

六角レンチ (対辺 8mm)

付属の「六角穴付セムスP=3 (10×25)」8本を使用して「アタッチメント」を「角度調節金具」に取り付けてください。



ボルトは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

「アタッチメント」を「角度調節金具」に取り付ける

つづき

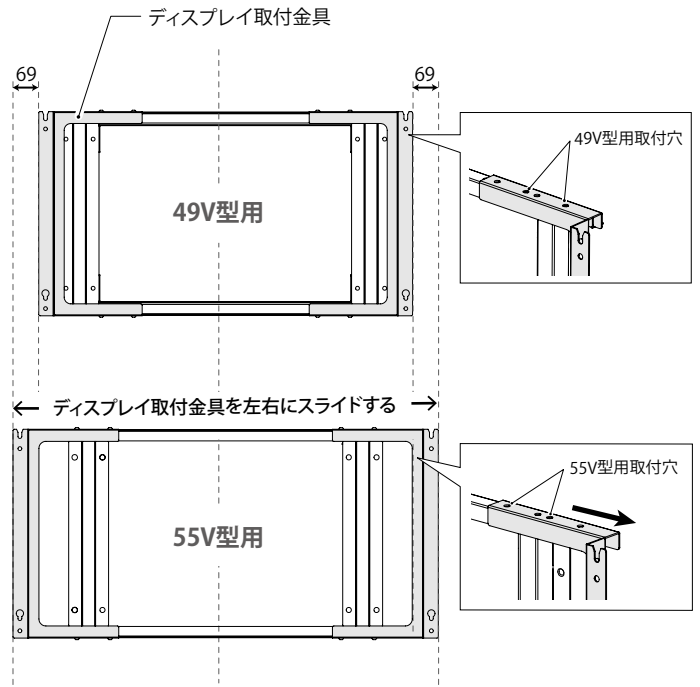
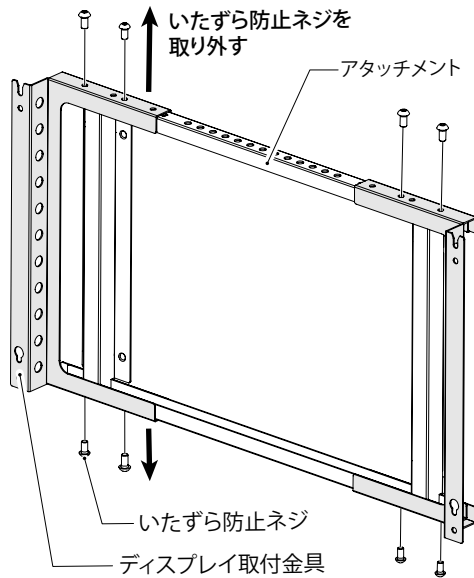
55V型の場合

使用する工具

いたずら防止ネジ用レンチ

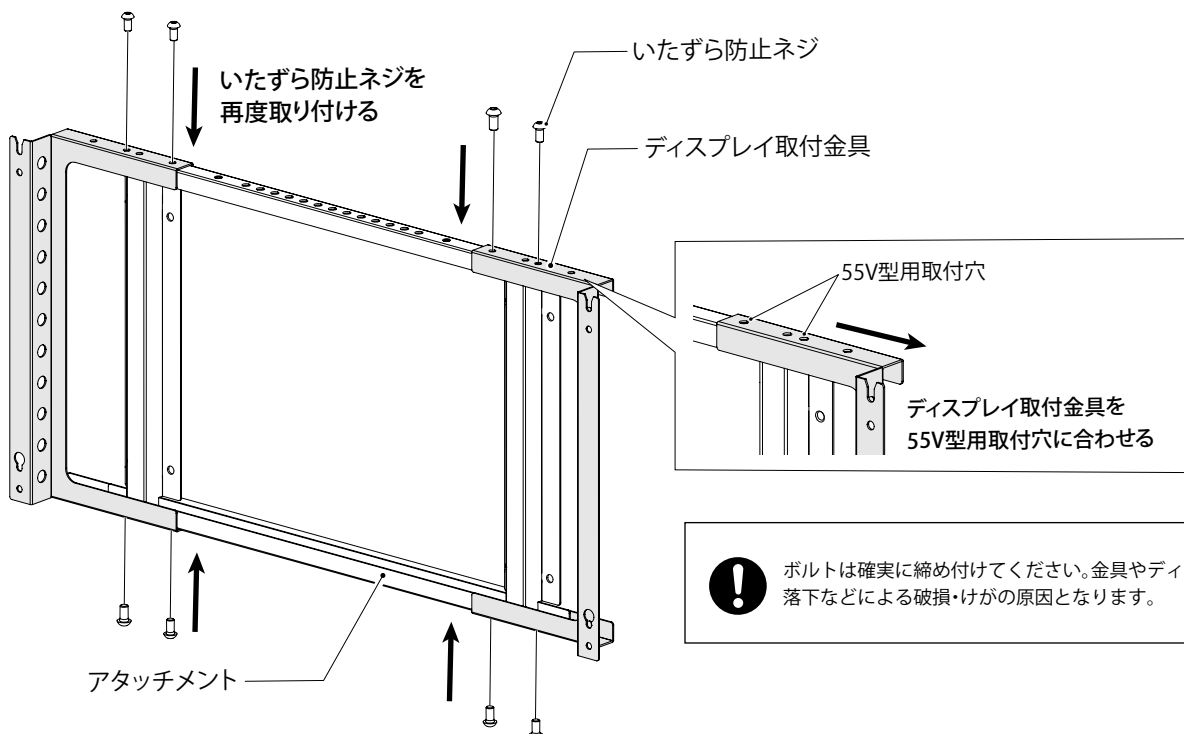
1. 「アタッチメント」上下面に取り付けられている「いたずら防止ネジ」を外し、「ディスプレイ取付金具」を左右にスライドします。

※ 49V型に合わせた状態で納品されます。55V型で使用する場合は金具を伸ばす必要があります。



取り外したネジは無くさないように注意してください。

2. 「アタッチメント」の「ディスプレイ取付金具」を左右にスライドした状態で1.で取り外した「いたずら防止ネジ」を再度取り付けてください。



ボルトは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

「アタッチメント」を「角度調節金具」に取り付ける

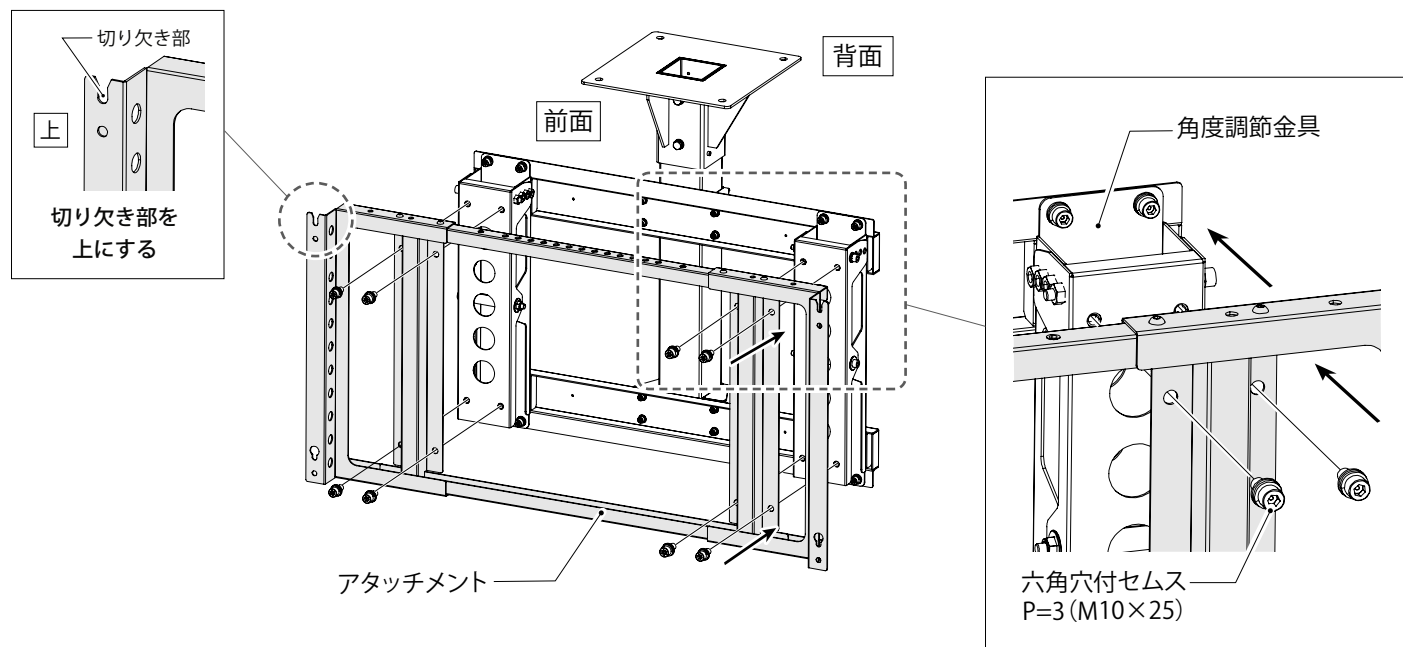
つづき

55V型の場合

使用する工具

六角レンチ (対辺 8mm)

3. 付属の「六角穴付セムスP=3(M10×25)」8本を使用して「アタッチメント」を「角度調節金具」に取り付けてください。



ボルトは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

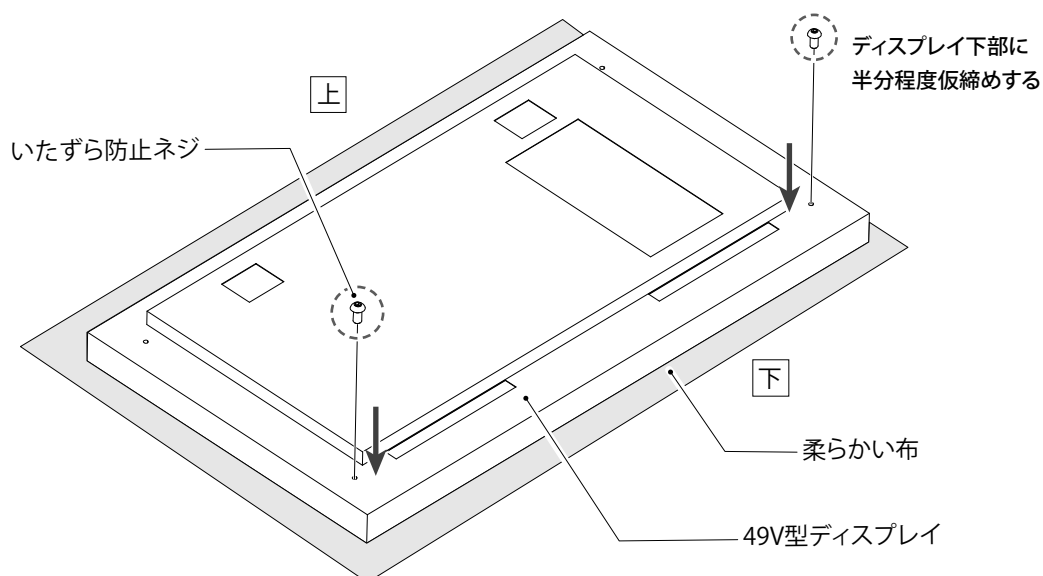
ディスプレイを「アタッチメント」に取り付ける

49V型の場合

1. ディスプレイの画面を下にした状態で柔らかい布などを敷いた平面に寝かせます。
2. 付属の「いたずら防止ネジ」2本をディスプレイ下部に半分程度仮締めしてください。

使用する工具

いたずら防止ネジ用レンチ

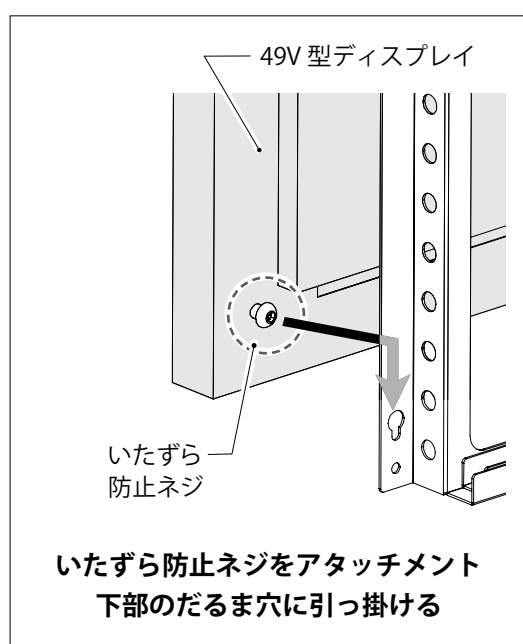


ディスプレイの上下についてはメーカーの取扱説明書やホームページなどで確認の上、作業を行ってください。

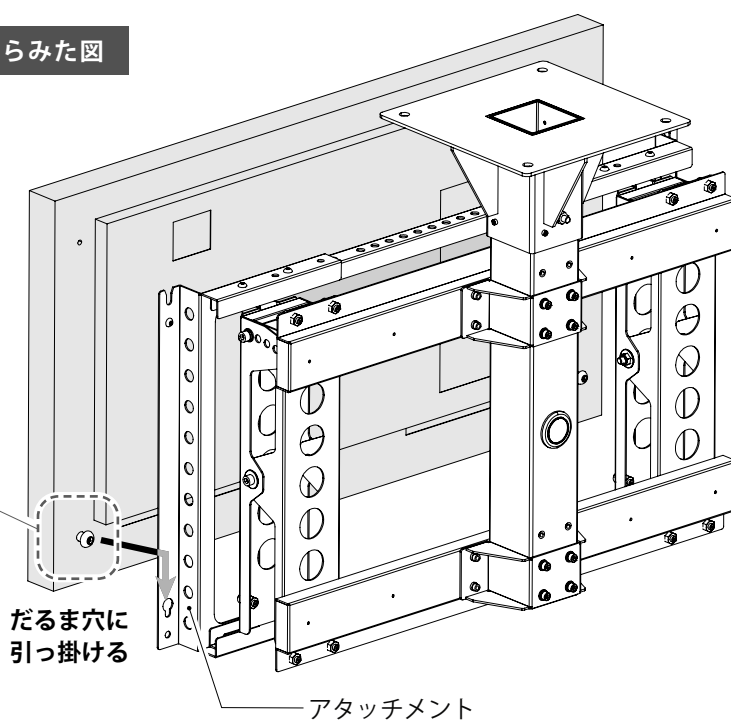


ディスプレイを寝かせる際は、凹凸のない平らな面に柔らかい布などを敷いて、取付を行ってください。画面に異常をきたす原因となります。

3. ディスプレイに仮締めした「いたずら防止ネジ」を「アタッチメント」下部のだるま穴に引っ掛けます。



背面からみた図



ディスプレイを「アタッチメント」に取り付ける

49V型の場合

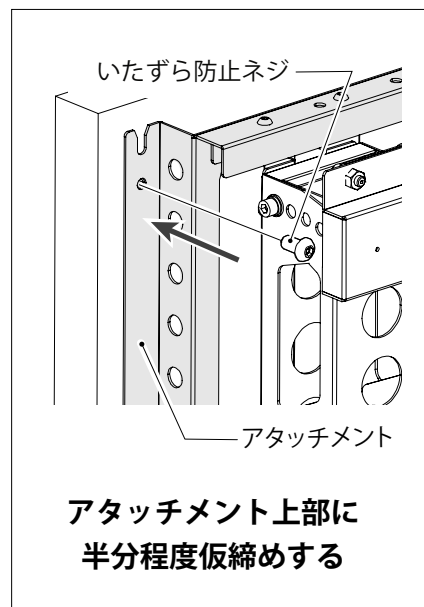
つづき

4. だるま穴に引っ掛けた状態で、「アタッチメント」上部に「いたずら防止ネジ」2本を半分程度仮締めしてください。

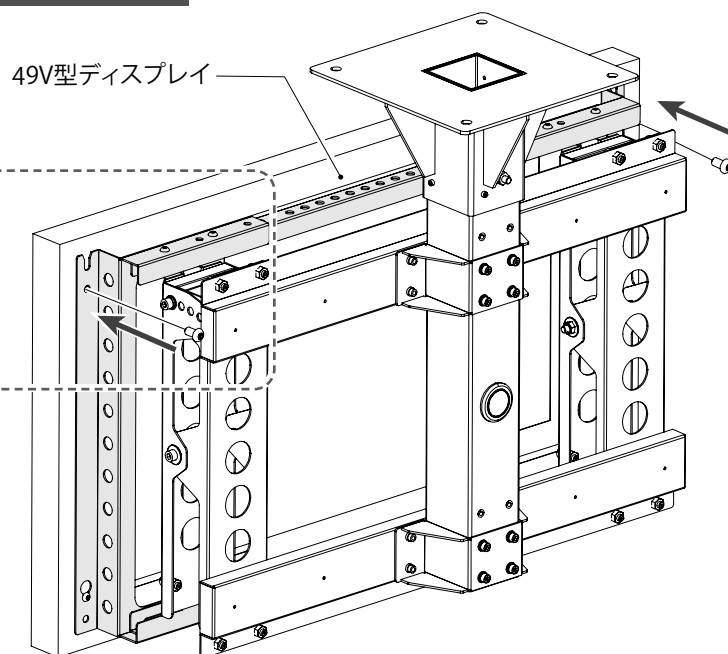
使用する工具

いたずら防止ネジ用レンチ

※ ネジを上下4本取り付けまではディスプレイをしっかり保持した状態で作業を行ってください。



背面からみた図



5. 引っ掛けた後、「いたずら防止ネジ」4本すべての本締めを行ってください。



ネジを確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

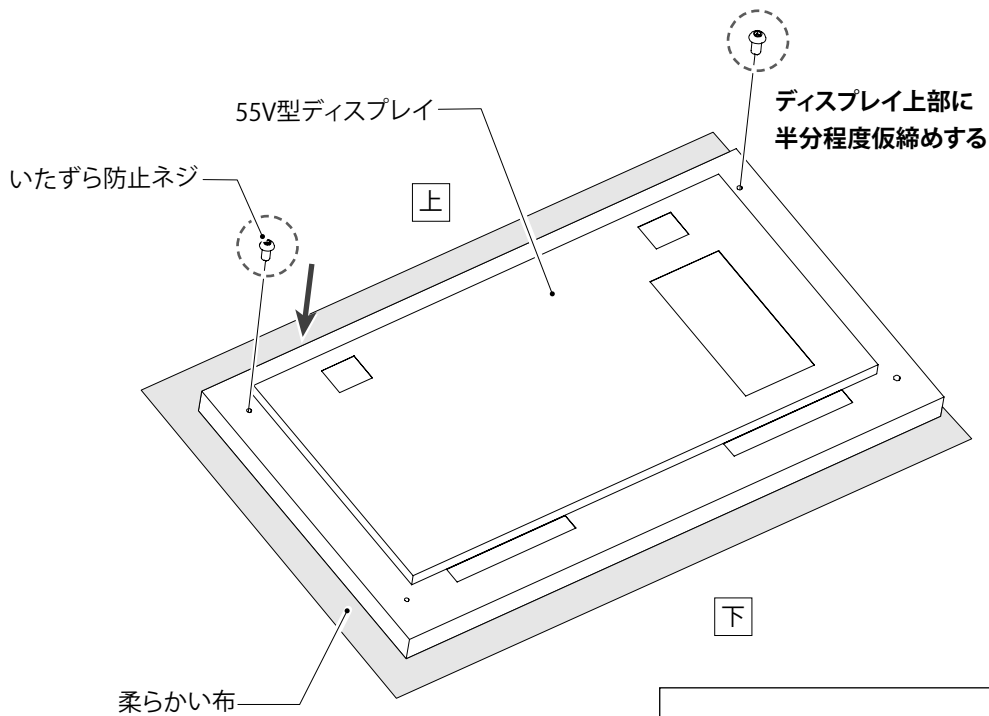
ディスプレイを「アタッチメント」に取り付ける

55V型の場合

1. ディスプレイの画面を下にした状態で柔らかい布などを敷いた平面に寝かせます。
2. 付属の「いたずら防止ネジ」2本をディスプレイ上部に半分程度仮締めしてください。

使用する工具

いたずら防止ネジ用レンチ

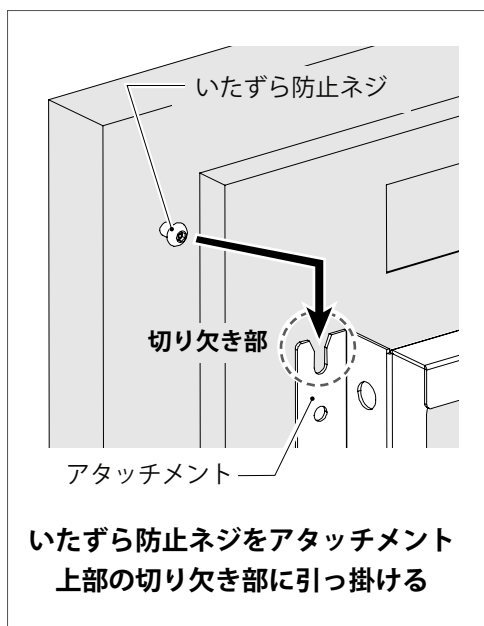


ディスプレイの上下についてはメーカーの取扱説明書やホームページなどで確認の上、作業を行ってください。

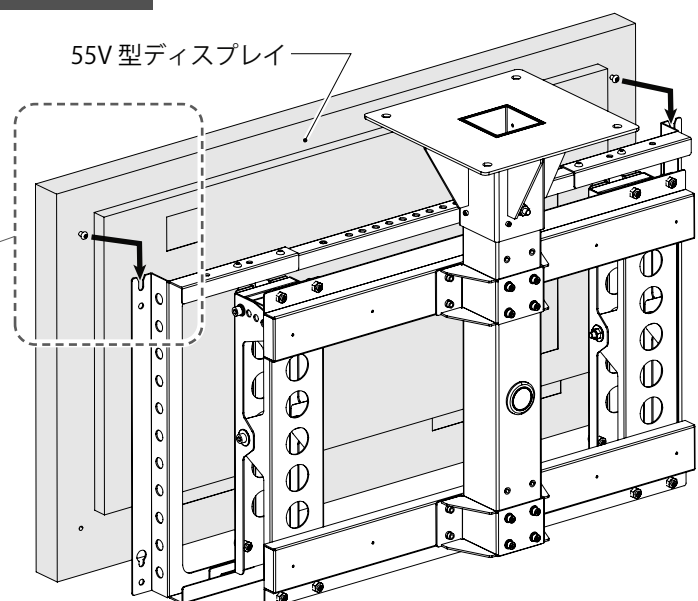


ディスプレイを寝かせる際は、凹凸のない平らな面に柔らかい布などを敷いて、取付を行ってください。画面に異常をきたす原因となります。

3. ディスプレイ上部に仮締めした「いたずら防止ネジ」を「アタッチメント」上部の切り欠き部に引っ掛けます。



背面からみた図

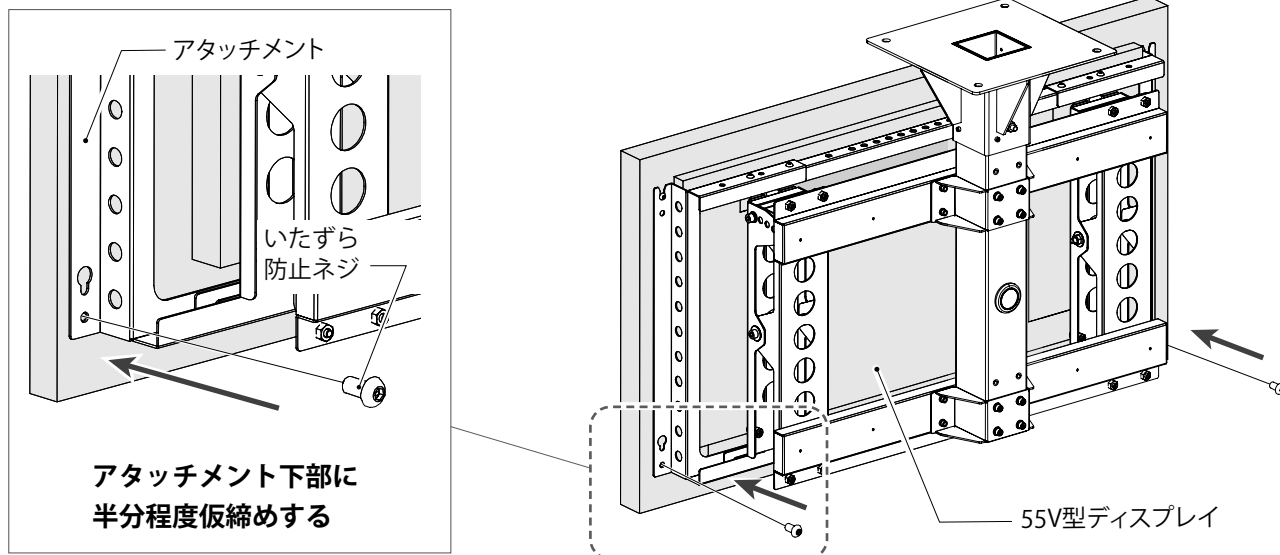


4. 切り欠き部に引っ掛けた状態で、「アタッチメント」下部に「いたずら防止ネジ」2本を半分程度仮締めしてください。

使用する工具

いたずら防止ネジ用レンチ

背面からみた図



5. 引っ掛けた後、「いたずら防止ネジ」4本すべての本締めを行ってください。



ネジを確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

ディスプレイの角度を調節する

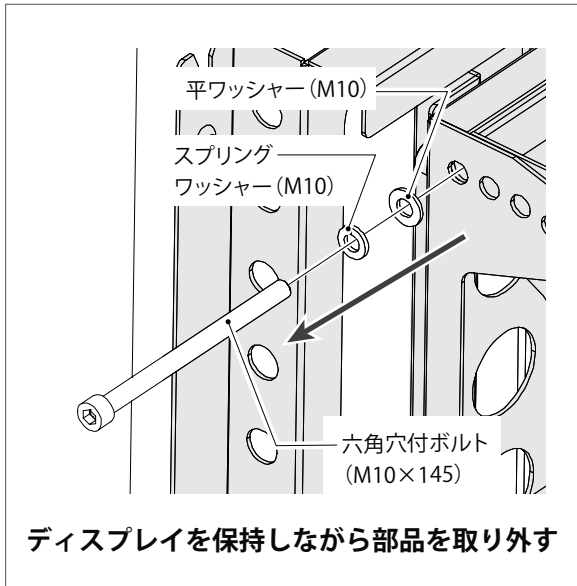
・ディスプレイの角度を調節する場合は、以下の手順をご参照ください。

使用する工具

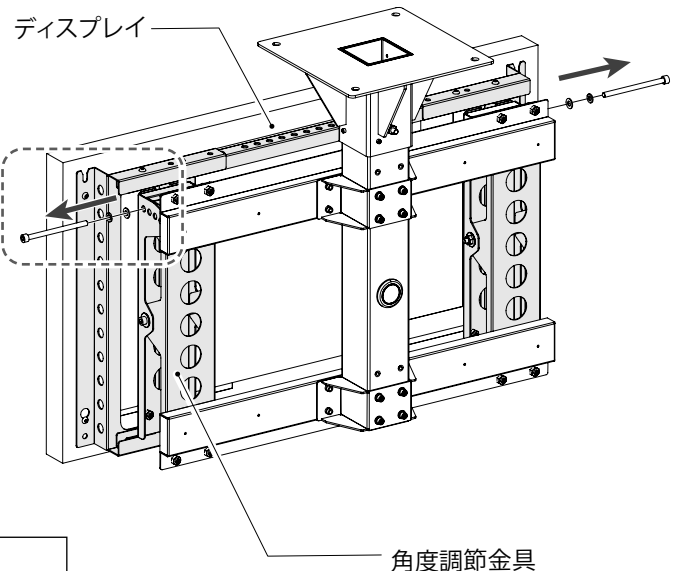
六角レンチ (対辺 8mm)

1. 「角度調節金具」上部に取り付けられている「六角穴付ボルト (M10×145)」、「スプリングワッシャー (M10)」、「平ワッシャー (M10)」を取り外してください。

※ 「角度調節金具」の部品を取り外す際はディスプレイを必ず保持した状態で行ってください。



背面からみた図



ボルトを取り外す際はディスプレイを必ず支えながら行ってください。ディスプレイの落下による破損・けがの原因となります。



ディスプレイを本製品に取り付け、取り外しを含め、組み立てに関しては、必ず2人以上で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

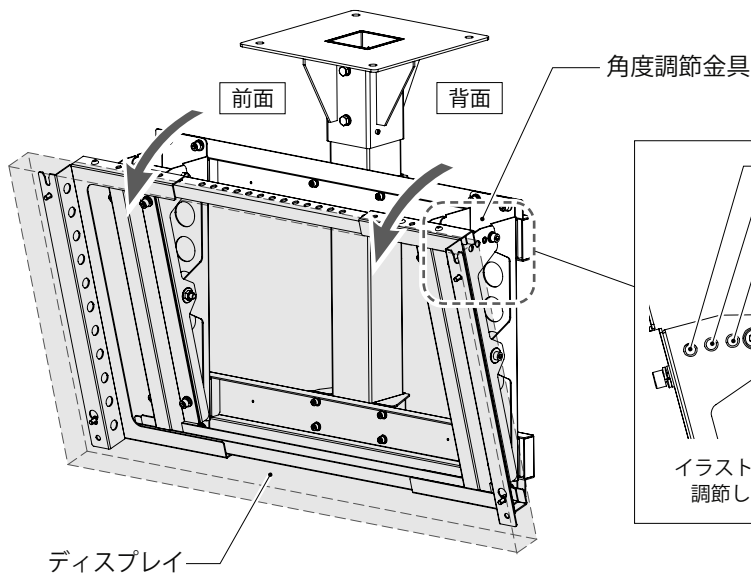
ディスプレイの角度を調節する

つづき

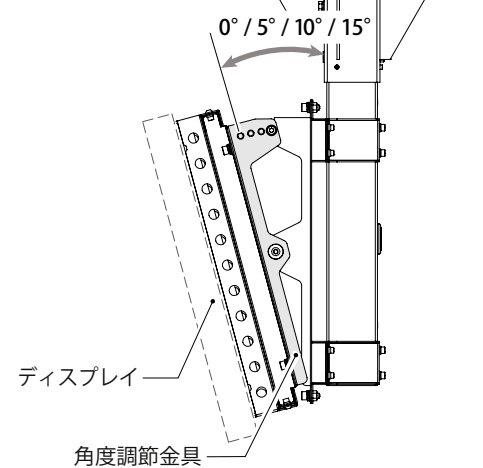
2. ディスプレイを両手で持ちながら、「角度調節金具」の取付穴を変更したい角度調節箇所に合わせてます。

※ ディスプレイの傾斜角度は前方向0°～15°間で、5°ずつ調節が可能です。

※ 角度調節を行う際はディスプレイを必ず保持した状態で行ってください。



側面からみた図



ディスプレイの角度調節を行う際は、必ず2人以上で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

3. 「六角穴付ボルト (M10×145)」、「スプリングワッシャー (M10)」、「平ワッシャー (M10)」を1.の手順を参考に再度「角度調節金具」上部に取り付けてください。

※ 「角度調節金具」の部品を再度取り付ける際はディスプレイを保持した状態で行ってください。

使用する工具

六角レンチ (対辺 8mm)



ボルトを取り外す際はディスプレイを必ず支えながら行ってください。ディスプレイの落下による破損・けがの原因となります。



ディスプレイを本製品に取り付け、取り外しを含め、組み立てに関しては、必ず2人以上で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



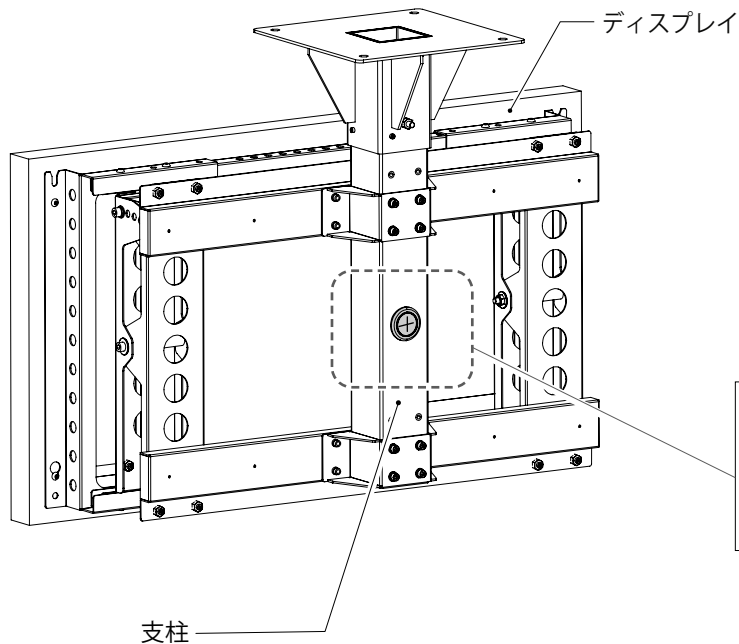
ボルトを確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

ディスプレイなどの配線処理をする

取付面の構造や設置方法により、配線方法(支柱内に通す / 支柱外で処理する)が異なります。
施工条件に合わせて配線経路を選定し、配線の事前処理を行ってください。(5ページを参照)

※ タテ設置の場合も同様です。

背面からみた図

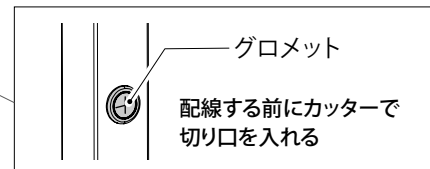


支柱内に配線を通す場合

図のように支柱の内側と背面下部のグロメットを使用してください。

支柱内に配線を通さない場合

ケーブルが挟まれたり引っ張られたりしないよう
適切に固定・保護してください。



グロメットに刃物などで切り口を入れる際はけがを
しないように十分注意してください。